

第四十五回帝國議會

工場法中改正法律案

工場法中改正法律案(板野友造君提出)
船員職業紹介法案
失業保險法案
疾病保險法案
工場法中改正法律案(安達謙藏君外六名提出)

委員會會議錄(速記)第二回

會議

大正十一年三月十一日午前十時五十分開議

出席委員左ノ如シ

- 委員長 鳩山 一郎君
理事 鈴木 鏡藏君
理事 板野 友造君
理事 佐藤 良平君
理事 牧野 良三君
理事 樋渡次右衛門君
理事 神原政一郎君
理事 正木 照藏君
理事 武内 作平君
出席政府委員左ノ如シ
遞信次官 秦 豐助君
遞信省管船局長 若宮 貞夫君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

砂田 重政君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

船員職業紹介法案

○鳩山委員長 是ヨリ會議ヲ引續イテ開キマス、委員外ノ砂田重政君カラ船員職業紹介法案ニ付テ質問致シタイト云フコトデアリマスガ、之ヲ許可シテ御異議アリマセヌカ

○鳩山委員長 ソレデハ許可致シマス、砂田君

○砂田重政君 私ハ政府委員ニ簡單ニ二三ノ質問ヲ致シタ

イト思フノデアリマス、此船員職業紹介法案ニ付キマシテ、此法律ニ依テ船員ト稱シマス者ノ中ニハ、高等海員モ下級海員モ全部含シテ、此法案ハ出來テ居ルモノト考ヘルノデアリマス、即チ船長或ハ機關長、一等運轉手、二等運轉手ト云フヤウナ高等海員、及下級ノ海員ヲ總テ網羅シテ、此職業法ハ出來テ居ルヤウニ思フノデアリマス、マダ是ハ政府カラ御提出ニナリマセヌガ、海員ニ對スル保險ノ法律案ガ政府ニ於テ、殊ニ遞信省ニ於テ御計畫ガ出來テ居ルヤウニ承テ居リマス、其内容ヲ以テ開致シマスルト是レハ高等海員ヲ除外スル事ニナリテ居ルヤウデアリマス、吾々ハ一ツノ立法ノ下ニ於キマシテ、同ジ船員ニ對スル立法ノ下ニ於テ、一方ハ高等海員ヲ除外シタル保險法ヲ設ケ職業紹介ノ方ニ於テハ之ヲ一ツニ包含シテ、高等下級ノ區別無クシテ設ケマスルト云フコトハ、第一ハ立法ノ根本ノ趣旨ニ於テ、甚ダ矛盾ガアリハシナイカト云フコトヲ考ヘルノデアリマス、若シ

高等海員ヲ除外シタル保險法ヲ設ケラレルト云フ趣旨ナレバ、船員ハ職業紹介法ニ於キマシテモ、高等海員ハ矢張除外サレタル立法ヲ作ラレナケレバ、其統一ガ付カヌヤウニ思フノデアリマスルガ、其點ニ對シテ政府ハドウ云フ御意見ヲ持テ居ラレマスルガ、第一ニ伺フテ置キタイト思ヒマス○秦政府委員 只今御尋ノ點ハ、此船員ノ保險ニ付キマシテハマダ提出シテ居リマセヌ、御承知ノ通りソレデアリマスカラ、ソレニ關聯シテ御答スルモ少シ異ナルモノデアリマスルガ、保險ノ方ニ付キマシテハ、大體此收入ヲ目安ニシテ、サウシテ此生活ノ安定ヲ期スルト云フ趣意デヤルノデアリマスルカラ、多クハ此高級海員ハ實際ニ於テ含レナイ事ニナルノデアリマス併シナガラ此高級海員モ任意加入スル事ハ無論認メル積リデアリマス、任意加入ハ、例ヘバ千二百圓以上ノ收入ノアル者ハ任意加入、其以下ノ者ハ強制加入ト云フ風ニ、一定ノ收入ノ限度ト致シマシテ、サウシテ強制ト云フコトニ致スト云フ考デアリマス、然ルニ此船員職業紹介ノ方ハ、サウ云フ風ナ特ニ區別ヲスル必要ハ無イノデアリマス、實際ニ於テ固ヨリ高級海員デアリマスカラ、特ニ此職業ノ紹介所ニ依テ紹介サレナクテモ、實際ニ於テ自分ノ使用セラレル所ノ口先ト云フモノハ、自分デ拵ヘルベキデアリマセウ、會社ノ方カラ希望シテ來ルノモアリマセウシマスカラ、紹介所ヲ煩スヤウナ必要ハ實際ニ於テハ多イダラウト思ヒマス、サウシテマダ極ク低イ所ノ船長デアリマシテモ低イ所ノ階級ニ於テ事實上此紹介所ノ必要ガアルモノガアルダラウト思ヒマス、サウ云フヤウナ譯デ、保險ノ方デハソレ等ノモノハ事實上任意加入デ這入ル、無論這入ルコトニナリテ居リマス、船員職業紹介法ト今後一是ハ今提出シテ居ラスノデアリマスカラ、ソレヲ捉ヘテ今一々私ガ申スモノオカシイガ現ニ角凡ソ吾々ノ考ヘテ居ル所デ申シマスレバ、其保險ノヤリ方ト、矢張此本法ノ精神ニ於テハ、統一ニナリテ居ルト考ヘテ居リマス○砂田重政君 此職業紹介法ノ第三條ニ依リマス、政府ハ職業紹介業ヲ行フ公益ノ團體法人其他ノ團體ニ對シテ、補助金ヲ支給シテ此事業ヲ行フコトニナリテ居リマス、今日迄船員ノ職業紹介ヲ致シマスルモノハ、所謂營利ヲ目的トシタ營業者、ソレカラ海員ニ關係ヲ持チマス公益法人ニ於テ從來ニ於テモヤッテ居ルノデ、例ヘバ海員救濟會ノ如

キ、及其他ノ海員協會、公益ヲ目的トシタ法人ニ於キマシテ、其目的ノ中ニハ海員職業紹介ト云フコトヲ主タル目的トシテ、今日デモ既ニヤッテ居ル、所ガ實際ニ於キマシテハ、其公益法人ナドノヤッテ居リマス、職業紹介ト云フモノガ實效ガ學ラス、却テ營利ニヤッテ居ル者ノ方ガ事業ガ盛ニナッテ居ルト云フヤウナ傾向ガ、今日迄見テ居ル實際ノ實例デアリマス、之ヲ實際ニ今日迄何等ノ效果ノ擧テ居ラス、殊ニ海員救濟會ノ職業紹介所ノ如キハ、マルデ官廳ノ役人ガヤルヤウナヤリ方デ、朝ハ遅ク出テ來テ、午後ハ四時ニナレバ締切ルト云フ状態デアリマスカラ、之ニ紹介ヲ依頼シテモ、事實ノ上ニ於テ非常ナ不便ヲ感ズルノガ現在ノ状態デアリマス、ソレヲ一般ノ營業者ヲ止メテシマツテ、サウ云フモノダケニ政府ガ補助金ヲ與ヘテヤルコトハ、一面ニハ弊害ヲ除クコトガ出來ルコトデアリマスガ、一面ニ於テハ一般ニ非常ニ不便ヲ感ズル結果ガ生ジハセヌカト思ヒマス、政府ニ於キマシテハ、從來ハ自在ニヤッテ居ルモノヲ政府ノ方デ監督スルノデアリマスカラ、從來ノ弊風ヲ一新スルコトガ出來ルト云フ考デアリマスカラ、カモ知レマセヌガ、今迄ノ救濟會ナドノ組織、實際ノ事務ノ取扱ノ状態ヲ考ヘマツト、非常ナ不便ヲ増シ、國費ガ負擔ヲ補助ヲ與ヘテモ、實際ノ實效ヲ擧ゲルコトガ困難ナイカト思ヒマス、唯茲ニ第三條ノ終ニ於キマシテ「公益ヲ目的トスル法人其他ノ團體ヲシテ」ト云フコトガアリマス、其他ノ團體ト稱シマスルノハ、惟フニ海員ノ團體、色々ノ組合ナドノ共同團體モ其一ツデアラウト思ヒマスガ、政府ノ御意嚮ハ、主トシテ此公益ヲ目的トスル法人ニ紹介ヲヤラセルト云フコトガ御趣旨デアリマスカラ、今日迄成蹟ノ擧ラナイヤウナモノヨリモ、寧ロ海員其モノノ團體ニ對シテ、職業紹介ヲ行ハシムルト云フコトガ主タル目的デアリマセウカ、其點ヲ伺フテ置キタイト思ヒマス○秦政府委員 日本海員救濟會ガ從來公益法人トシテ紹介ノ事ヲヤッテ居リマスガ、其成績ガ營利ヲ目的トシテ居ル者ニ比シテ、非常ニ惡イヤウニ今御話デアリマシタケレドモ、吾々ハサウハ考ヘテ居リマセヌ、日本海員救濟會ハ多年ヤッテ居リマシテ、紹介ノ事ニ付テハ餘程好キ成績ヲ擧ゲテ居ルト考ヘマス、唯御話ノ何ト申シマスカ、運用ノ方法ト云フカ、人ガ役人式デアツテ、ソレデ海員ニ對シテ十分ニ深切丁

寧、或ハ語リ海員ノ心持ノ其合好ク行クヤウニ、洋イ所ヘ手
ガ届クマデニハナクテ居ラス、ノミナラス、或ハ場合ニ依ッテ
ハ其反對ニ、却テ惡感反感ヲ起スト云フヤウナ事柄ガ往々
ニシテアルト云フコトハ、是モ聞イテ居リマス、ソレハアル
ダラウト思ヒマス、是ハ御役人式ニナッテ居ルヤウナ傾ハド
ウモアルヤウデ、是ハ御同感デアリマス、併ナガラ紹介ノ成
蹟ハ隨分澤山ノ人ヲ紹介シテヤッテ居ル、營利ノ者ヨリモ多
ク紹介シテ居ルコトハ吾々認メテ居ルノデアリマス、此實
際問題ト致シマシテ、是ハ又豫算ノ場合ニ於テ、此法律案ニ
伴ヒマシテ費用ヲ要求スル譯デアリマスガ、今日デハ此公
益法人トシテ日本海員救済會ヲ働カセルト云フコトガ、今
日ノ現狀ニ於テハ一番適切デアラウト考ヘテ居リマス、ソ
レデ其他ノ紹介業者ニ付キマシテモ、此法律ニ依ッテ一層監
督ニ嚴シテ、サウシテ此紹介ノ成績ヲ擧ゲテ行キタイ、斯
ウ云フ考デ居ルノデアリマス、ソレデ此規定ニアルヤウニ
公益法人其他ノ團體、其他ノ團體ニ於テモ之ガ紹介事業
ヲヤッテ、成績ヲ擧ゲ得ベント云フ見込方立チマスレバ、此
規定ニ依リマシテ政府ガ補助ヲ與ヘテ、其紹介ノ仕事ヲヤ
ラセルト云フ場合ガ無論起ッテ來ラウト思ヒマス、又
ソレヲ吾々ハ希望シテ居ル次第デアリマス

○砂田重政君 政府ノ御考デハ、海員救済會ノ事業ノ成績
ガ學テ居ルト云フ御話デアリマスガ、是ハ議論ニ亙リマス
カラ深クハ申シマセヌガ、若シ實際此救済會ノ事業ガ目的
ノ通りニ效果ガ學テ居ルモノナラバ、今日迄ノ有料紹介ノ
營業ヲシテ居ル者ノ業ガ潰レナケレバ、ナラヌ、無料デヤッ
テ居ル、而モ大キナ財産ヲ持ッテ居ル救済會デアリマスガ、却
テ振ハナイ、反對ニ有料デヤッテ居ル紹介人ノ方ガ盛デア
ルト云フ實例ハ、其實際ニ於テ救済會ノ其目的ガ遂行ガ出來
テ居ラヌト云フコトヲ證シテ餘リアルト思ヒマス、其點ハ
議論ニ亙リマスカラ、更ニ此處デ質問ハシナイコトニ致シ
マスガ、只今マデノ實際ノ實例ニ依ッテ見マスト、斯ウ云フ
弊害ガ何時デモ起ッテ居ル、是ハ海員ノ職業ガケテハナイ、
一般ノ無料職業紹介所ト云フモノ、成績ガ擧ラナイノハ、
是ハ下ニ使ハレテ居ル紹介所ニ於ケル者ガ隨分中ニハ地方
ノ宿屋トカ、下宿屋トカト一種ノ結托ヲシテ、一人ノ海員ガ
紹介ヲ求メテ救済會ニ行クト、或期間宿屋ニ泊メテ置ク、サ
ウシテソレニ對スル報酬ヲ下ノ者ガ宿屋カラ取ッテ居ル、海
員無料紹介シテ貰ッテ居ル様デアアルガ、事實ニ於テハ多少
ノ報酬ヲ出シタ形ニナルト云フノガ、今日ノ實際ノ有様デ
アル、無料ト云フコトハ表面デアッテ、其事實ニ於テ海員ノ
懷中カラハ金ガ出ルト云フ實際ノ有様デアアルカラ、此效果
ガ學ラヌト云フノガ、私共ノ實驗ノ結果デアアル、此點ハ特ニ
十分ノ御考慮ヲ爲サラヌト、折角補助金ヲ與ヘテヤルモノ

ガ、實際ニ於テ其效果ヲ擧ゲヌト云フコトハ、屢ニ認メテ居
ル例デアアル、ソレヨリハ寧ロ海員ニ依ッテ組織サレタ團體ノ
ヤウナモノニヤラセルト云フコトガ、一面ニハ其團體ニ對
スル補助金ニ依ッテ發達ガ出來、又同ジ海員ノ仲間ノ會デア
アリマスカラ、其目的ヲ達スル上ニ於テモ便宜デアラウト
思ヒマス、此點ニ付テハ質問ノ此程度ニ止メマスガ、六條ニ
アリマス船員職業紹介委員會ノ組織、此組織ハ「ゼネバ」ノ
會議ニ依ッテ、斯ウ云フ委員會ノ組織ハ無論船主ト船員、兩方
ヲ網羅シテ御作りニナルモノト思ヒマスガ、御計畫ニ依レ
バ船主及船員ノ數ハ半數々々位ニ御定メニナル御意擧デア
アリマスガ、或ハ船主ノ方ヲ多數ニシテ、船員勞働者ヲ少數
入レル御考デアリマスガ、此點ヲ伺ヒタイ

○砂田重政君 只今ノ御答辯ニ依リマシテ、非常ニハッキリ
シマシタガ、附則ニアリマス「現ニ有料又ハ營利ヲ目的トス
ル船員職業紹介事業ヲ行フ者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ當分
ノ内其ノ事業ヲ繼續スルコトヲ得」ト云フ此條項デアリマ
ス、今迄日本ノ法律ニ「當分ノ内」ト云フ言葉ヲ使ツクモノ
、中デ、極端ナモノハ十數年間其儘生キテ居ルモノモアル、
現ニ舊刑法中ノ家資分散ノ際財產隱匿ノ罪、其他二三ノモ
トニナッテ今日迄マダ其當分ガ殘テ居ルノデアリマス、實
際日本ノ法律ハ當分ト云フ言葉ガ十年モ二十年モ續クト
云フ實情ニナッテ居ルノデアリマス、デ吾々ノ考ヘマス所デ
ハ、折角斯ウ云フ法律ガ出來テモ、一方ニ營利ヲ目的トスル
職業紹介事業ヲ行フ者ハ當分ノ内ト云フ言葉デ此法律ガ實
施サレルコトニナリマスト窮極スル所ハ有料ノ職業紹介業
ト云フモノニ弊害ガアルト認メテ、此法律ヲ出シテ置キナ
ガラ、其弊害ヲ除ク方法ガ何時ニナレバ實行ガ出來ルカ分ラ
ヌ事ニナリマス、唯成ベク速ニト云フ積リデ居ルト云フ御
證明ハ前ニアッタヤウニ新聞デ拜見致シタノデアリマスケ
レドモ、唯成ベク速ニト云フ意味ガケテハ是ハ安心ハ出來
ナイ、少クトモ政府ノ御意擧デハ、職業紹介業ヲ營利トシテ
行ッテ居ル者ニ對シテハ、何等カ相當ノ方法ヲ設ケテ、例ヘ
バ此事業ヲ廢メサスナラバ、ソレニ對シテ相當ノ賠償ヲ與
ヘル、或ハ他ニ轉業ノ途ヲ執ルベク相當ノ方法ヲ講スルト

カ、何カ無ケレバ私ハ此儘デハイケナイト思フガ、政府ノ此
點ニ對スル御考ヲ前ニ御質問ガアツタカモ知レマセヌガ、一
應伺ッテ置キタイト思ヒマス

○奏政府委員 是ハ前ニ御質問ガアッテ御答シタノデスガ、
此規定ハ言フマデモナク、現在有料又ハ營利ヲ目的トシテ
紹介事業ヲ營シテ居ル者ハ、其他ニ業ヲ轉ズル色、ナ方法
ヲ立テナケレバ無理デアラウト思フ、其猶豫期間ヲ矢張見
タイト思フ、又一方カラ云フト御話ノアツタ様ニ手數料ナリ
其他ヲ取ラレテモ、亦一方ニ心持好ク行ク事ガアッテ喜ンデ
居ル様ナ實情モ今日アルノデアリマス、ソレデ求職者ノ方
ノ海員ノ側カラモ考ヘテ見テ、一方ノ無料ノ紹介所ガ追々
手ヲ擴ゲテ、サウシテ有料ノ紹介所ガ無ナッテモ差支ナイ
ヤウニ段々進ンデ參リマセウガ、此間ニ於テハ求職者ノ海
員ニモ直グニ廢サレテハ困ルト云フヤウナ場合モ確ニ起ル
ト思ヒマス、サウ云フ兩方ノ方面カラ考ヘマシテ、當分ノ内
ト云フコトニ致シタノデアリマスガ此當分ガ今御話ノヤウ
ニ、十年モ當分、或ハ十五年モ當分ト云フノデアリマシテ居ル場
合モ、實際ニ當分ト云フ御話デアリマスガ、是ハ實際問題ト
致シマシテハ、吾々ハサウ十年モ十五年モ此當分ト云フ字
ヲ使フ考ハ無イノデ一年カ二年或ハ三年位ニナリマスガ、
成ベク早く此當分ト云フ字ヲ撤去シタイ、斯ウ云フ考デア
リマス、或ハ一年トカ六箇月トカ——海員團體デアリマシ
タカ、個人デアリマシタカ、六箇月ト云フ意見書モ出テ來テ
居リマスガ、ドウモ今直グニ年限ヲ切ルト云フモノ、少シ拘
子定規ニナルト云フ心配ガアリマスノデ、先ヅ少シ曖昧デ
アリマスガ、當分ト云フコトニシテ、事實上ニ於テハ成ベ
ク早く一方ノ無料職業紹介所モ發達サセルヤウニシ、又現
在有料ノ職業紹介所ヲヤッテ居ル人モ、他ニ轉ジテ苦情ガ無
イト云フヤウニシタイ、斯ウ云フ腹デ居リマス

○鈴木委員 大分質問モ重ネラレテ大抵盡シタヤウデスカ
ラ、討論ニ移ラバ如何デスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○牧野委員 一寸一ツダケ第三條ノ二項ニ、先程砂田君カ
ラ質問ノアリマシタ事ニ關聯シテ「勅令ノ定ムル補助金ヲ
支給シテ公益ヲ目的トスル法人其ノ他ノ團體」トアリマス
ガ、是ハ現在如何ナル團體ヲ豫想シテ居ルカラ御伺スル事
ガ出來マスレバ、參考ニナルト存ジマス

○逓信府委員 今實際問題トシテハ、此補助金ヲ支給スル
ニ付テハ、日本海員救済會ダケヲ考ヘテ居リマス、其他ノ團
體ハ實際問題トシテ考ヘテ居リマセ

○鳩山委員長 御質問ガ既ニ盡キタヤウデアリマスガ、是
ヨリ討論ニ入ッテ差支アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○鳩山委員長 ソレデハ討論ニ入ルコトニ致シマス

○鈴木委員 船員職業紹介法ノ全部ヲ通覽致シマシテ、尙
ホ委員諸君ノ詳細ナル御質問、及當局者ノ御答辯ヲ參酌シ
テ見マシテ、此法案ハ最モ事宜ニ適シタ所ノモノト存ジマ
ス、殊ニ千九百二十年五月、ゼノアニ於テ開カレマシタ國
際労働會議ニ於テ、職業紹介所設置ニ關スル條約案トシテ
モノハ、今日御批准ニハナクテ居ラナイモノデアリマスケレ
ドモ、當然是ハ御批准ニナル時ガアツテ、即チ我が日本帝國
政府トシテモ、之ヲ遵奉スル義務ヲ生ズルコトハ當然ノ事
ト考ヘマス、即チ今日日本ノ船員職業紹介ノ實情ト、但シ各
委員カラ御質問モアツテ、果シテ此法案ニ依リテ政府ガ期待
サレタル如ク、今日迄弊害ヲ認メラレタ所ノモノヲ除去シ
テ、而シテ船員職業紹介ノ運用ヲ阻止セザルヤウニ致シ得
ルヤ否ヤト云フコトハ、將來モ是ハ研究ヲ要スル事ト思ヒ
マス、就テハ吾々ニハ第六條ノ船員職業紹介事業ノ經營ニ
關スル船員職業紹介委員會、此制度ヲ成ベク早く組織セラ
レテ、而シテ此專門家間ニ依ッテ十分研究サレマシタナラバ
只今御心配ノヤウナ、御質問ニナクテ附則ノ詰リ「當分ノ内」
云々ト云フコトモ、自然解決サレル事ト信ジマス、故ニ私ハ
此全部ニ贊成ノ意ヲ表シテ、速ニ成案トナランコトヲ希望
スル所以デアリマス

○正木委員 私モ只今ノ鈴木君ノ如ク贊成シマス、デ矢張
鈴木君ノヤウニ第六條ノ委員會ヲ速ニ拵ヘテ、此委員會ニ
於テ此當分云々ナルモノヲ十分御研究ニナツテ、サウシ
テ成ベク早くヤル事ニ願ヒタイ、是ハ段々實際ノコトヲ
考ヘマス、或ハ二百七十モアル所ノ商賣ヲヤツテ居ル
者ヲ、悉ク直ぐ廢メサセルコトハムヅカシカラウ、或ハ紹介
ノ手数料ヲ取ラスト云フコトハ廢メテハナラヌ、一面ニ於

テ下宿屋ヲサストカ何ト云フモノヲ拵ヘスト、唯救済會
トカ、政府ガ色々拵ヘテ、單純ナル紹介ダケデハ却テムヅカ
シクハナイカ或ハ差支ヲ生ズルト云フヤウナコトガ出來
シナイカト思ヒマス、此邊ハ委員會ヲ早く御拵ヘニナツテ、
サウシテ篤ト御協議ニナルコトヲ望ムト同時ニ、是マデ有
タノヲ失ハズヤウニ希望スル、又同時ニ救済會ノ方モ、愈
追加豫算デモ御出シニナツテ、モウ少シ仕事ヲ殖スコトニオ
ヤリニナレバ、逓信大臣ニ於テモウ少シ嚴重ニ監督ヲ加
ヘテ、サウシテ色々ノ批評ヲ受ケナイヤウニスルコトヲ希
望スル、何分陸上ノ労働者ト違ヒマスノデ、一面ニ於テハ海
員間ノ思想モ大分近來變化シツツアル、是等ニ付テハ十分
御留意アラント云フ併セテ希望シテ置キマス

○鳩山委員長 討論ハ別ニゴザイマセヌカ——ソレデハ討
論ハ終結致シマシタ、ソレデハ採決ヲ致シマス、鈴木正木兩
君ノ原案可決ト云フコトニ付テ別ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○鳩山委員長 原案ハ可決致シマシタ

○武内委員 此審査ノ進行ニ付テ委員長ノ御意見ヲ一應承
テ置キタイト思ヒマス、此特別委員會ニ付託サレテ居リマ
スル工場法ト云ヒ、失業保險法ト云ヒ、疾病保險法ト云ヒ、
孰レモ皆是ハ重大ナ問題デアリマス、一面ニ於テハ此各政
黨トモ政策ト致シテ居リマス、社會問題、社會政策デアリマ
シテ、一面ニ於テハ此一般ガ希望シテ居リマス、労働問題
ノ解決ノ一端トナル譯ノモノデアリマシテ、今回提案サ
レテ居リマス諸他ノ法律案等ニ比較シテ餘程重要視ス
ベキ性質ノモノト考ヘルノデアリマスガ、此重要視スベキ
案、殊ニ此工場法ハ三月ノ二日ニ此委員會ニ付託サレタ
デアリマスノニ、マダ一回ノ此特別委員會モ御開キニナラ
スト云フヤウナコトハ深切ニ此法案ヲ審査スルト云フ御考
ヲ持ッテ居ラルルノカ、或ハ握潰シデモスルト云フヤウナ風
ノ御考デ唯昨日引張テ居ラルルデハナイカト云フコト
ヲ疑フノデアリマス、一應其點ニ付テ御意見ヲ憂慮ノ餘リ
拜承シテ置キタイト思ヒマス

○鳩山委員長 御答致シマス、私ハ安達謙藏君外十名提出
ノ職業紹介法案ノ後ニ、議題ニ付セラレタ工場法中改正法
律案ノ方ハ、國民黨ノ方ニ交渉致シマシテ、板野君ガ色々
委員會ニ御出席ニナツテ居ッテ、都合ガ悪カッタト云フコトデ
スカラシテ、國民黨ノ同意ヲ得テ居ル結果、延シテ居リマシ
タ、決シテ握潰スト云フヤウナ考ヲ持ッテ延シテ居ッタト云
フ譯デナイノデアリマス

○武内委員 今後引續イテ相當御連絡セノ上デ、精々御審
査ヲ努メラレンコトヲ希望致シマス

○鳩山委員長 是ニテ散會致シマス

午前十一時三十二分散會

大正十一年三月二十七日印刷

大正十一年三月二十八日發行

衆議院事務局

印刷 印刷局